

2016 年度 入学式式辞

学校法人梅村学園 総長・理事長 梅村 清英

桜花爛漫のこのよき日に、中京大学の学部並びに大学院研究科の入学式を迎えました。学校法人梅村学園を代表して、ご挨拶申し上げます。入学生の皆さんには、心よりの祝意とともに、歓迎の意を表します。また、ご列席の保護者の皆さま方には、謹んでお慶び申し上げます。

皆さんがこれから過ごす本学は、建学の精神を「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」としています。校訓は「真剣味」です。真は知育、剣は体育、味は徳育です。三者のバランスの上に立った有為な人材の育成を目指しています。これらの実践として、四大綱「ルールを守る。ベストを尽くす。チームワークをつくる。相手に敬意を持つ」があります。

本学は 1954 年に短大として開学し、その 2 年後に四年制大学となりました。それから 60 年が経過しました。絶えざる改革により、現在は、11 学部 11 大学院研究科の総合大学です。2012 年度には、長期計画「NEXT 10」を策定し、開学 60 周年を迎えた 2014 年度より様々なプロジェクトを推進しています。

キャッチフレーズは「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」です。「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人を育成」していきます。「しなやか」は「難局にもくじけない、柔軟で強い」といった意味です。

名古屋キャンパスは、60 周年の節目に完成した本部棟と図書館・学術棟、40 周年を記念したセンタービルなどが威容を誇っています。国際センターのラウンジで、留学生らの多言語による交流風景は日常のことです。

豊田キャンパスは、広大、緑豊かで、トップアスリートが集います。新体育館建設を柱とした総合施設整備計画が進んでします。アイスアリーナでは、オリンピック選手の村上佳菜子さんや、本郷理華さん、宇野昌磨さんらが練習しています。

今年はリオ・オリンピック、パラリンピックがあります。本学でオリンピック選手はこれまで 95 人を数えます。今回も、在学生に出場が有力視される選手がいます。

2020 年の開催地は東京です。本学でも、関連のスポーツ・ミュージアム構想が具体化しています。このたび、ミズノ株式会社と連携協定を結び、トップアスリートの育成を一層強力に推し進めていくことになりました。

さて、世界に目を向けると、そうした明るい動きばかりではありません。今一番の懸念は「イスラム国 (IS)」による自爆テロの世界各地への拡散です。中国経済の減速、軍備増強が気がかりです。北朝鮮の水爆実験やミサイル発射など憂慮すべき報道が相次いでいます。

日本は、かつて経験したことのない高齢社会、少子社会、人口減少社会へと向かっています。安倍政権の経済政策「アベノミクス」も、日本経済の長い停滞からの脱出を図る決

定打にはなっていません。最近は、お金を預けると損をする「マイナス金利」という前代未聞の政策まで日銀が導入する事態となり、資本市場に混乱が起きています。

世界が、日本が、ダイナミックに動いています。まさに激動の時代です。だからこそ、皆さんには確かな目で生き抜く力を身につけてもらわなければなりません。

時代を読み解くキーワードはグローバリズムです。ヒト・モノ・カネの移動は地球規模となり、それは、日々拡大しています。

本学では、海外の教育機関、在名古屋の外国公館との連携を積極的に進めてきました。最近では、イタリアのヴェネツィア大学、韓国の学校法人地山学園、台湾の国立嘉義大学との協定締結が実現しました。駐名古屋韓国総領事館とは包括的な協力関係にあります。

それらが目指すグローバルな人材育成においては、単なる語学力の向上より、幅広い知識の習得が先決です。コミュニケーション能力を高めるにはお互いの国の歴史や文化への深い理解が必要です。それらを中心としたリベラル・アーツ教育、基礎的教育の充実を図っていきます。

幸いなことに、本学の学生は何より元気です。先輩たちは、資格センターやキャリアセンターの支援も受けながら、就職戦線で健闘してきました。有力企業に大勢の内定者を出し、公務員では最難関の国家総合職に合格者、最終的な採用者が出るまでになりました。

それに呼応するかのように入試戦線での地位も着実に上がってきました。そして、本日、皆さんを迎えることとなりました。本学は多くの分野で、目標とする「中部の私大 No.1」の地位を固めつつあります。このことへの誇りを胸に、これからのキャンパスライフを過ごしてください。

本学を運営する梅村学園は、1923 年の中京商業学校（現・中京大学附属中京高等学校）開校を始まりとしています。そして 2023 年には百周年を迎えます。すでに記念事業委員会などを設け、栄えある歴史を伝えるべく、記念誌発行、記念館開設を始めとした様々な事業の検討を始めています。

創業者・梅村清光先生は水戸学の「文武不岐」を、この地にもたらししました。その八代前の清茂氏が水戸藩士のための「清信塾」を開いたのが 1716 年で、今年が三百周年となりました。

私はこの血筋を継ぐ者で、本学経済学部第一期生です。それゆえ、「愛すべき母校」「誇るべき母校」であるよう願う思いは人一倍であり、これからも、そうあり続けるよう努めていきます。

皆さんは、将来を期待する頼もしい後輩です。本学にご入学いただいたのを機に、新たな一步を築いてもらえれば幸いです。絆を大切に、広く、深く学んで、多くの友人を作ってください。

月日はあっという間に過ぎていきます。「高い志」を持って、怠ることなく、常に校訓「真剣味」で臨んでください。これからの学生生活を教職員一同、全力で支援していきます。本日は誠にありがとうございます。ご健闘を心より祈念して祝辞とさせていただきます。

2016 年 4 月 1 日